

改質グースアス混合物 コンクリ床版に適用へ

大林道路、スペック向上

大林道路は3日、高速道路橋梁部に用いる改質グー



eグース・スーパの施工
状況（報道発表資料から）

スアスファルト混合物「eグース」を、さらに高スペック化した「eグース・スーパ」を開発したと発表した。適用対象を鋼床版からコンクリート床版にも拡大し、高速道路会社が運用する橋梁レベリング層用グースアスファルト混合物（BLG）と同等の施工性や耐流動性、防水性能を確保。BLGの代替工法として、eグース・スーパの全面適用を目指す。

eグースの製造技術を応用した。eグースと同じポ

リマー改質アスファルトII型をベースに、特殊添加剤をプラントで添加する。改質アスファルトと添加剤はプラントに常備できる。BLGはプレミックスタイプのためプラントで製造量を調整できず、急な天候悪化時などに無駄になる課題があった。

大林道路は今後、BLGを従来用いるような全工事でeグース・スーパの適用を目指す。発注者の要望に合わせた配合調整や他社への出荷も視野に入れる。

◆7面にも企業ニュース掲載